

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
	福祉対策措置	よしのこども園維持運営事業	吉野町	4,400,000	4,400,000	総事業費 4,818,860

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称			
	福祉対策措置	よしのこども園維持運営事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉野町			
交付金事業実施場所		吉野町大字飯貝			
交付金事業の概要		吉野町立よしのこども園の臨時保育講師人件費(特別支援担当者2名)12ヶ月分 吉野町では総合計画において「子育て支援の充実」を掲げており、特別支援が必要な園児に対して個別の支援・援助を行い、保育環境の充実を図るため、交付金を活用しています。			
総事業費		4,818,860	交付金充当額	4,400,000	
			うち文部科学省分	0	
			うち経済産業省分	4,400,000	
交付金事業の成果目標		吉野町では、総合計画において過疎化、少子高齢化が進展する中で、安心して子どもを産み、育てることができる環境整備を目指しており、その施策のひとつとして「子育て支援の充実」を掲げています。子育てしやすい環境づくりのため、認定こども園では0歳児～5歳児の保育・教育を行い、多様な保育ニーズに柔軟に対応できるよう保育環境の充実に向けています。近年特別支援を必要とする園児が増加し、個別に付き添い支援を必要とする園児も多いため、安心して園生活を過ごせる保育環境・職員体制を整備する必要があります。そこで、本交付金を活用し、特別支援担当保育者を複数配置し、職員体制を整えることで、特別支援を要する園児や周りの園児の安心・安全な園生活を保障し、保育環境を図ります。			
交付金事業の成果指標		本交付金事業により成果目標を達成するには、特別支援を必要とする園児5名にきめ細やかな支援を行うため、こども園の職員体制を充実させる必要があります。本交付金を、特別支援担当保育者2名分の人件費に充当し、特別支援担当保育者を配置することで充実した保育体制を確保します。			
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、よしのこども園の特別支援担当保育者2名、12ヶ月分の人件費を確保することができました(園児67名中 特別支援を要する園児5名 特別支援担当職員2名配置)。このことにより、多動で突発的な行動をとる園児や集団活動が難しい園児に、個別に付き添い支援をすることで、園児の情緒が安定し、安心して園生活を過ごすことができました。また、園児の育ちを支援することで、保護者の不安軽減等子育て支援につながりました。 今後も多様な保育ニーズに応じて、こども園職員体制を整備し、安心して子育てができる保育環境づくりを推進していく予定です。			
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法等		契約の相手方	
臨時保育講師人件費		雇用		-	
		計		4,818,860	
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	
				平成32年度	